

「沖縄進出への思い」



株式会社エーデルワイス

代表取締役会長

ひやね つよし
比屋根 毅

菓子ひとすじ60年余。石垣島の大自然の中で駆け回っていた私
が、大きな夢を抱き、単身で島を
飛び出したのは15歳の時でした。

無我夢中で菓子の道を歩み続け
てきましたが、一人前になってい
つか郷里へご恩返ししたいとい
う私の長年の夢が叶う日がようやく
近づいてきました。

2年後に、創業50周年の節目を
迎えるにあたり、郷里のために何
かお役に立ちたいという思いか
ら、このたび沖縄に進出すること
になりました。

今年4月、弊社の沖縄進出の意
向を聞かれた琉球銀行の金城頭取
が兵庫県にある弊社までわざわざ
お越しになり、沖縄で営業力と販
売網をお持ちのオキコ株式会社
と、長年培ってきた高い技術力を

持つ弊社がコラボレーションすれ
ば、沖縄の菓子業界の活性化と底
上げにつながるのではないかと
の提案をいただき、歴史あるオキコ
株式会社との仲介役を積極的に務
めて下さいました。

とんとん拍子に話は進み、
2014年9月1日、オキコ株
式会社と弊社は共同出資の新会
社「株式会社エーデルワイス沖縄」
を設立いたしました。

また、今年4月25日、沖縄タイ
ムス社からの要請を受け、沖縄政
経懇話会21の4月定例会に講師と
してお招きいただきました。

私のような者でも、郷里のため
にお役に立てることがあればとい
う思いから、沖縄県内の政財界の
トップの皆様の前で「郷里を出て
61年の歩み」をテーマに講演させ
ていただきました。

沖縄を代表される皆様を前に大
変恐縮しましたが、私なりに歩ん
できた人生をお話しさせていた
いたところ、思いがけず大きな反
響があり、政財界からは是非沖縄に
進出をという強いご要望もいた
き、このたびの進出を後押しして
下さいました。

2016年までに那覇市周辺で
製造工場、飲食できるレストラン
やカフェなど生産と販売機能を備
えたモデル店舗をオープンする予

定です。

その店舗では、安心安全で高品
質な商品の販売をはじめ、菓子の
製造過程の見学コース、親子で利
用できるケーキ教室を併設したり
など、地元の皆様が楽しんでいた
だけのような店づくりをするのは
もちろんのことですが、沖縄を訪
れた観光客の観光コースに組み込
まれるような楽しいおしゃれな店
舗にしたいと考えています。

昨年、沖縄を訪れた観光客は約
641万人で過去最高を記録した
そうです。

沖縄を訪れるたくさんの方の観光客
の皆様にも喜んで頂けるようなお
みやげ商品を開発し、沖縄観光に
も貢献したいと思っております。

全国的なトップブランドにする
には、味はもちろんのこと、ネー
ミング、デザインなどの商品開発
や販売方法の戦略、地道なPR活
動など、あせらず粘り強くこつこ
つと努力を積み重ねても、お客様
に受け入れてもらえるまで数年の
歳月がかかると思います。そこに
は、商品に携わる多くの人の情熱
が必要です。

沖縄はマンゴーやパイナップ
ル、グアバ、シークワーサーなど
太陽のめぐみをいっぱい受けて
育った南国フルーツや黒糖など他
府県にはない食材や素材に恵まれ

ており可能性を秘めています。

これらの地元の新鮮な素材をふ
んだんに活かした古い伝統の味を
活かしながらも沖縄の香りのする
ものだけにこだわらず、世界中から
斬新な素材を広く取り入れ、新感
覚の特産スイーツを開発して、新
しい世界を作り上げていきたいと
思っています。

おみやげ市場の商品とギフト商
品との差別化をはかり、現在、エー
デルワイスグループあげて商品開
発をしているところです。

多くの皆様のご意見を聞きなが
ら、お客様に喜んでいただき満足
していただける商品をデビューさ
せ、沖縄ならではの魅力ある商品
を育てていきたいと思っています。

まだ初めの一步を踏み出したば
かりで、これから時間はかかる
と思いますが、私共が魂をこめて
作ったお菓子が県民の皆様にあ
れ、郷里を代表するような銘菓に
成長し、そのお菓子を沖縄からア
ジア、そして世界にも発信してい
きたいという夢を持っています。

長年の経験を活かし弊社の技術
力を結集し、皆様のご期待にお応
えできるよう、オキコ株式会社を
はじめ同業の皆様とともに、頑張
りたいと思いますので、ご支援の
ほどよろしくお願い致します。